最初にお読みください

Panasonic

パーソナルコンピューター
取扱説明書

品番 CF-M1 シリーズ

Let's note

98

セットアップ編
セットアップ・Windows 入門

説明書の構成

取扱説明書

セットアップ編（本書）

コンピューターを使うための準備作業をするときに。また、初めてのかたを対象に、Windows（ウィンドウズ）の基本操作を、具体例を通して説明しています。

活用編

安全上のご注意など、取り扱いについての説明に始まり、便利な機能や通信のしかた、省電力機能、周辺機器の拡張のしかた、困ったときの対処方法などについて説明しています。

オンラインマニュアル

画面上で参照できるマニュアルです。
「オンラインマニュアル」の見かたについては、取扱説明書『活用編』をご覧ください。

困ったときの Q&A

本機が思ったように動かないなど困ったときの対処方法をQ&A方式で説明しています。

パソコン・サポートとつきあう方法

初めてのかたを対象に、お客様のご相談窓口を上手に利用する方法や、コンピューターの専門的な用語・略語などについて説明しています。
（編集：社団法人 日本電子工業振興協会）

内蔵モデムコマンド一覧

ATコマンドを使って通信する場合にご利用ください。

上手に使って上手に節電

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

ご愛用者登録のお願い

ご使用に際して、必ず、ご愛用者登録をしていただきますようお願いいたします。
（操作方法など詳しくは、付属の『ご愛用者登録のお願い』をご覧ください。）

はじめに

本書の読みかた

ご使用の前に、取扱説明書『活用編』の「安全上のご注意」をよくお読みください。本製品を安全にお使いいただく上で大切な情報が記載されています。

表記の約束

- キーの文字は、説明や操作に必要な文字だけを四角で囲んでいます。
  （例） N み は N や み と表記します。
- あるキーを押しながら、別のキーを押すような操作の説明は、次のように「＋」を使って表記します。
  （例） Fn ＋ F6
- 「スタート」→[Windowsの終了]などは、[スタート]をクリックした後、[Windowsの終了]をクリックすることを意味します。（内容によっては、ダブルクリックが必要であったり、ポインターを置くだけでいい場合もあります。）「クリック」「ダブルクリック」については→16ページ
- 本文中の画面例は、一部実際と異なる場合があります。

付属品を確認しましょう

コンピューター本体以外に下記の付属品があります。万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、お買い上げになった販売店にお確かめください。

●コンピューター本体の包装袋のシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を確認してください。（→取扱説明書『活用編』「ソフトウェア使用許諾書」）
●本体底面のラベル（またはWindowsマニュアルの表紙）に記載されているProduct Key（プロダクトキー：番号とアルファベット）を取扱説明書『活用編』の裏表紙などに記入してください。

ACアダプター . . 1個	電源コード 1本	モジュラーケーブル . . 1本	標準バッテリーパック . . 1個
品番:CF-AA1527			品番:CF-VZSU10
外部FDD 1個	周辺接続ケーブル . 1本	ウエイトセーバー 1個	
（フロッピーディスクドライブ） 品番:CF-VFDU02		（取り付け／取り外しのしかたは、CD-ROMドライブと同様です。→取扱説明書『活用編』）	
プロダクトリカバリーCD-ROM . 2枚	印刷物		
	●取扱説明書『セットアップ編』（本書） ●取扱説明書『活用編』 ●まいと～くのご案内 ●Hi-HOのご案内 ●困ったときのチェックシート ●Intellisync®のユーザー登録はがき ●Windowsマニュアル ●保証書	●ご愛用者登録のお願い ●ユーザーフォーラムのご紹介 ●ニフティのご案内 ●DION・ODNのご案内（各1枚）	<CF-M1ER/CF-M1EVのみ> ●KDDのご案内 ●パソコンクイックサービスのご案内 <CF-M1Rのみ> ●保険のご案内

もくじ

接続

ウィンドウズ Windowsの準備

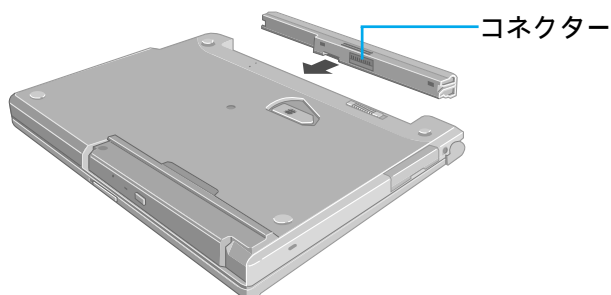
Windows入門（初めてのかた）

電源を接続しましょう

バッテリーパックやACアダプターの「安全上のご注意」および取り扱いについて詳しくは、取扱説明書『活用編』をご覧ください。

バッテリーパックを取り付けます

1 本体を裏返す。

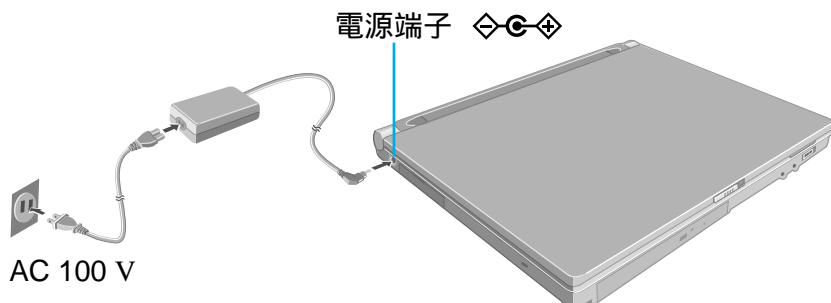
2 付属の標準バッテリーパックをコネクターの位置を合わせて、カチッと音がするまで差し込む。

お願い

指定のバッテリーパック以外は使用しないでください。

◀付属の標準バッテリーパックは、工場出荷時には充電されていません。コンピューター本体にバッテリーパックを取り付けた状態でACアダプターを接続すると、自動的に充電が始まります。

充電にかかる時間
電源入時：約5.5時間
電源切時：約2.5時間

ACアダプターを接続します

1 付属のACアダプターを接続する。

お願い

コンピューター本体にACアダプターを接続しないときは、コンセント側も抜いておいてください。
（ACアダプターをコンセントに接続しているだけで約0.6 Wの電力が消費されます。）

⚠警告

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

※このほか、『活用編』の「安全上のご注意」をよく読んでご使用ください。

電源を入れてWindowsの準備をしましょう(初回のみ)

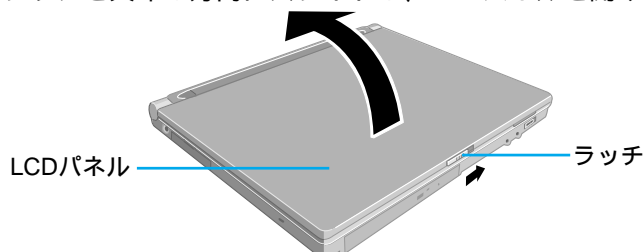
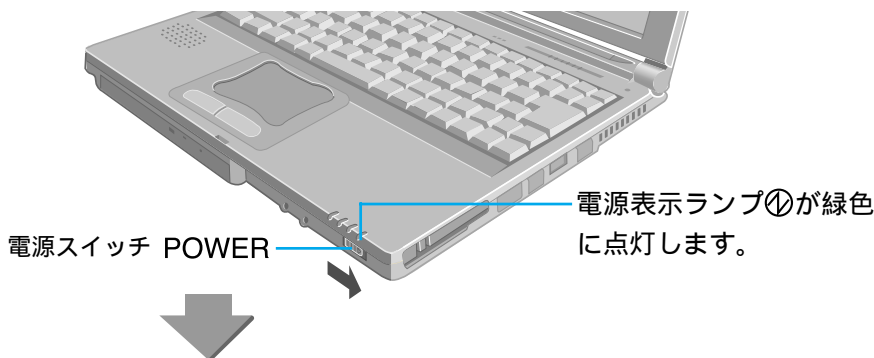
バッテリーパックとACアダプターの接続ができたら、いよいよ電源を入れます。

電源を入れて Windows をセットアップします

コンピューターを使うには、最初に1回、使用者の氏名やコンピューターの識別番号などを入力する必要があります。これをWindowsのセットアップといいます。

1 本体底面のラベル（またはWindowsマニュアルの表紙）に記載されているProduct Key（プロダクトキー：番号とアルファベット）を取扱説明書『活用編』の裏表紙などに記入してください。

2 ディスプレイを開ける。

ラッチを矢印の方向にスライドし、LCDパネルを開けてください。

3 電源スイッチをスライドする。

[Esc] を押して次のステップへ進む。

チュートリアルを使って文字の入力練習をしたいかたは、[M] を押し、画面に従って操作してください。

（次ページへ続く）

お願い

- 画面に変化がなくても内部ではコンピューターが動いています。左の画面が表示されるまでお待ちください。
- この後、Windowsのセットアップが終わるまで（本書9 ページまで）、絶対に電源を切らないでください。また、セットアップは、最後まで続けて行ってください。
  （セットアップ終了まで約10分かかります。）

画面の明るさや音量を調節するには
→15ページ

用 語

Windows　：コンピューターを動かしたり、使用環境を整えたりする上で、なくてはならない基本システムです。ウィンドウ（窓）のような小画面を画面上に開いて操作するので、「ウィンドウズ」と名付けられています。（正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating systemです。本書では、 Windowsまたは Windows 98と表記します。）

電源を入れてWindowsの準備をしましょう(初回のみ)

4 所有者の名前を入れる。

1 名前を入れる。

2 ふりがなを入れる。

3 スマートポインターをこすって矢印を合わせ、左ボタンをカチッと1回押す。

文字の入力のしかた→次ページ

スマートポインターとクリックボタンの基本操作　→次ページ

◀名前はニックネームや略称などでもかまいません。

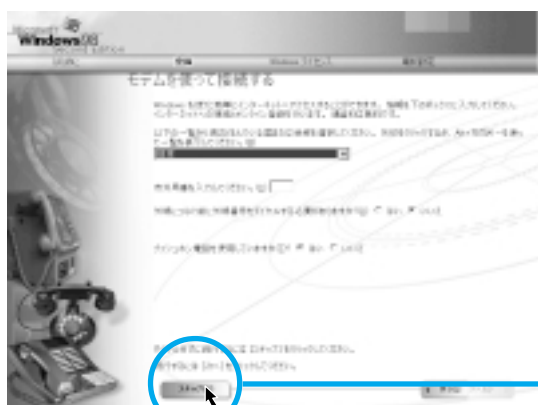
◀ふりがなは入れなくてもかまいません。入れる場合は、Tab を押し、ふりがなの欄にカーソル（点滅する”Ｉ”）を移動します。

◀以降の手順で クリック と書かれていたら、3の③と同様の操作をしてください。

「モデムを使って接続する」はここでは設定しません。

[スキップ]を クリック

◀インターネットの設定をするには、電話回線への接続など、多くの準備が必要です。ここでは設定しないでセットアップが終わった後で、別途行ってください。（→取扱説明書『活用編』）

お願い

必ず、[スキップ]をクリックしてください。

1 [はい]を クリック

2 [次へ]を クリック

（8ページへ続く）

お願い

必ず、[はい]をクリックしてください。

◀「はい」の文字、または左横の○をクリックすると、◉になります。

用 語

カーソル（Ｉ）　：その位置に文字が入力できることを示します。

文字の入力のしかた(→詳しくは 18 ページ)

① Alt ＋ 半角/全角 を押して、日本語入力モードに切り換えます。
②ローマ字のつづりでキーを押すと、ひらがなで入力されます。
(例) M A T U S I T A と押す。 まつした

③漢字に変えるときは 変換 を押す。 松下

④ Enter を押す。（文字が確定される） 松下

<アルファベット・数字の入力>

Alt ＋ 半角/全角 を押すと、英数字を入力できるようになります。
Shift を押しながらキーを押すとアルファベットの大文字を入力できます。
もう一度、 Alt ＋ 半角/全角 を押すと、ひらがなの入力に戻ります。

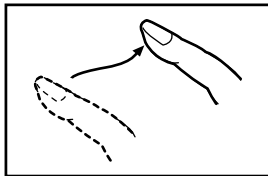
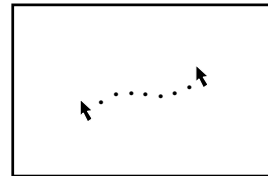
<文字を間違えたら>

Back space を押すと、右端の文字から消すことができます。

まつして → まつし

スマートポインターとクリックボタンの基本操作（詳しくは→ 16 ページ）

スマートポインターを指の腹で軽くこすると、その動きに合わせて画面上の矢印が動きます。動かすスペースがなくなったら、指を適当な場所に置き直し、操作を続けてください。

指の動き

画面上の矢印（ポインター）の動き

< クリック のしかた>

①画面上の矢印（ポインター）を選択したい項目にあわせる。

②左ボタンをカチッと１回押す。

間違って[次へ]をクリックしてしまったら

あわてずに、[戻る]に矢印をあわせてクリックします。１つ前の画面に戻ります。

操作中に画面が真っ暗になったら

工場出荷時は省電力設定がされているため、操作をせずに数分間[*1]置いておくと自動的に画面の表示を消し、電力の消費を抑えます。いずれかのキー[*2]を1回押すかスマートポインターを操作すると、元の画面に戻ります。

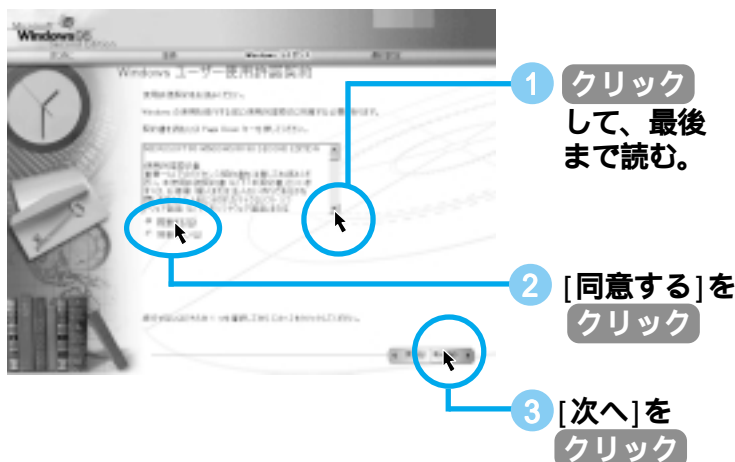
[*1] 工場出荷状態では、バッテリーパックだけで動作しているとき2分間、ACアダプターを接続しているとき15分間です。

[*2] Ctrl キーなど、入力待ち画面でも影響のないキーを押してください。

ウィンドウズの準備

電源を入れてWindowsの準備をしましょう(初回のみ)

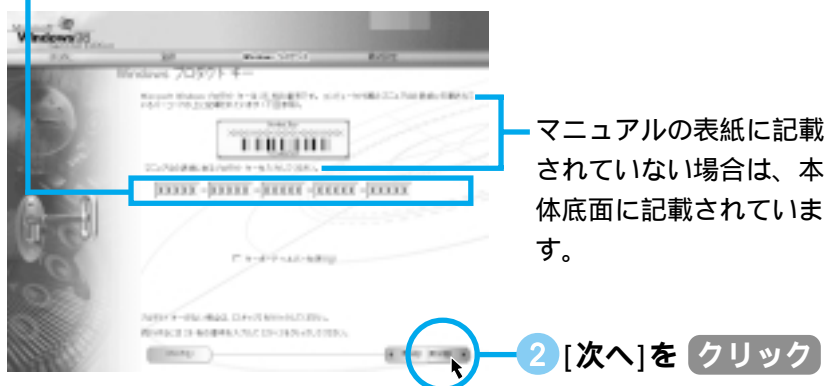
ウィンドウズの準備

5 「使用許諾契約」をよく読む。

◀ ▼をクリックすると、下方にある文章が表示されます。

◀「同意する」の文字、または、左横の○をクリックすると、◉になります。

◀「同意しない」を選ぶと、Windowsのセットアップが中止されます。

6 「プロダクトキー」を調べて、入力する。

1 取扱説明書『活用編』の裏表紙などに記入したProduct key（プロダクトキー：番号とアルファベット）を入力する。

プロダクトキーの入力

- そのままキーを押すと、アルファベットを入力できます。
- 「0」(ゼロ)と「O」（オー）、「1」と「I」(アイ)は似ているので間違えないように気をつけましょう。
- ハイフン（-）は必要ありません。
  ５桁を入力したら自動的に右横の枠にカーソル（I）が移動します。

「入力したプロダクトキーは無効です」という表示が出たら

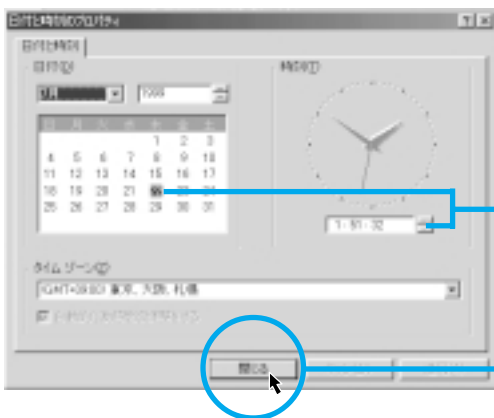
①[プロダクトキーを再入力する]をクリックし、[次へ]をクリックします。
②プロダクトキー入力画面に戻りますので、訂正する文字の右をクリックします。（カーソル(I)が表示されます。）
③ Back space を押して文字を消し、入力し直してください。

用 語

プロダクトキー　：コンピューターの識別番号です。
使用許諾契約　：Windowsを使用するにあたって、不正な行為を行わないことを約束するためのものです。（不正な行為とは、Windowsをコピーして第3者に渡すことなどをいいます。）

7 Windowsのセットアップを完了する。

これで、Windowsが使えるようになりました。

8 日付と時刻を確かめる。

日付、時刻を修正する場合

- 日付はカレンダー上で正しい日付をクリックしてください。
- 時刻は時：分：秒の順に正しい数字を入力してください。

ご愛用者登録のお願い

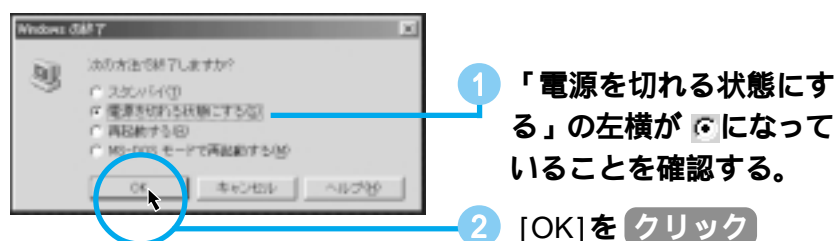
ご使用に際して、必ず、ご愛用者登録をしていただきますようお願いいたします。
（操作方法など詳しくは、付属の『ご愛用者登録のお願い』をご覧ください。）

正しい電源の切りかたを覚えましょう

電源を切るときは、必ず下記手順にしたがって「Windowsの終了」操作を行ってください。また、アプリケーションソフトを使用した場合、データを保存し、そのアプリケーションソフトを終了してからWindowsを終了してください。

◀終了操作を正しく行わなかった場合、入力したデータは消え、コンピューターの中身が壊れることがあります。

◀キーボードを使って終了する場合
を押してスタートメニューを表示し、[Windowsの終了]を選んでください。

◀になっていない場合
「電源を切れる状態にする」の文字または左横の に矢印を合わせてクリックします。

「しばらくお待ちください」と表示された後、自動的にコンピューターの電源が切れます。（電源表示ランプ⏻が消灯します）

しばらく作業を中断するときは

作業中にしばらく席を外すときは、コンピューターを「スタンバイ」や「休止状態」にしておくと便利です。「スタンバイ」や「休止状態」にすると、使用中の画面やファイルは本体内に一時的に記憶され、コンピューターの電源は「切」の状態になります。次に電源を入れたときには前回使用していた画面やファイルなどが表示され、すぐに作業を再開できます。（→取扱説明書『活用編』「スタンバイと休止状態機能」）

用 語

アプリケーションソフト ：文章を作ったり、お絵描きをしたり、インターネットで情報を見たり、いろいろな働きをするように組まれたプログラムの総称。ワードパッド（→17ページ）なども文書作成のアプリケーションソフトのひとつです。

万一のトラブルに備えましょう

コンピューターが正常に動作しなくなったり、ハードディスクの内容が消えてしまったりした場合、「再インストール」と呼ばれる操作を行って工場出荷状態に戻すことができます。再インストールには、以下の方法でバックアップディスクを作成しておく必要があります。

バックアップディスクを作成します

必ず、お買い上げ後すぐにバックアップディスクを作成し、付属のプロダクトリカバリーCD-ROMと共に大切に保管しておいてください。
（再インストールが必要になってからでは作成できません。）

バックアップディスクには、以下のものがあります。
・ファーストエイドFD
・アップデートFD（次ページの手順5で作成画面が表示された場合のみ）

<準備するもの>
・フロッピーディスクドライブ（付属）
・周辺接続ケーブル（付属）
・2HDのフロッピーディスク1枚（別売）

1 操作を終わる。（→10ページ）

2 フロッピーディスクドライブを取り付ける。

3 電源を入れる。

Windowsの画面が表示されます。

バックアップディスクの作成
再インストールを行うために必要ないくつかのファイルをハードディスクからフロッピーディスクにコピーする操作です。
個人のファイルのバックアップ
ここで説明しているバックアップは本機を工場出荷状態に戻すためのものです。個人で作成したファイルについては、お客様ご自身で必要に応じてバックアップを取ってください。

◀次ページ手順5で「アップデートFD」の作成画面が表示された場合、フロッピーディスクはその分を加えた枚数が必要になります。

お願い

必ず、付属のフロッピーディスクドライブを使用してください。
USB接続のフロッピーディスクドライブなどでは、バックアップディスクを作成できません。

◀フロッピーディスクドライブの取り付けかたについて詳しくは、『活用編』「周辺機器を拡張する」をご覧ください。
◀ACアダプターも取り付けておいてください。

4 「バックアップディスク作成」プログラムを起動する。

2 [プログラム]→[Panasonic]の順に矢印（ポインター）をあわせる。

3 [バックアップディスク作成]を クリック

1 [スタート]を クリック

5 バックアップディスクを順に作成する。

1 内容を読む。

2 [OK]を クリック

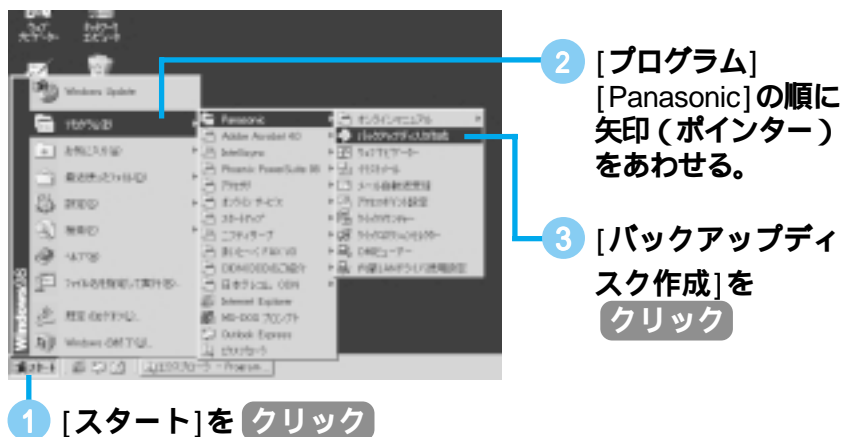
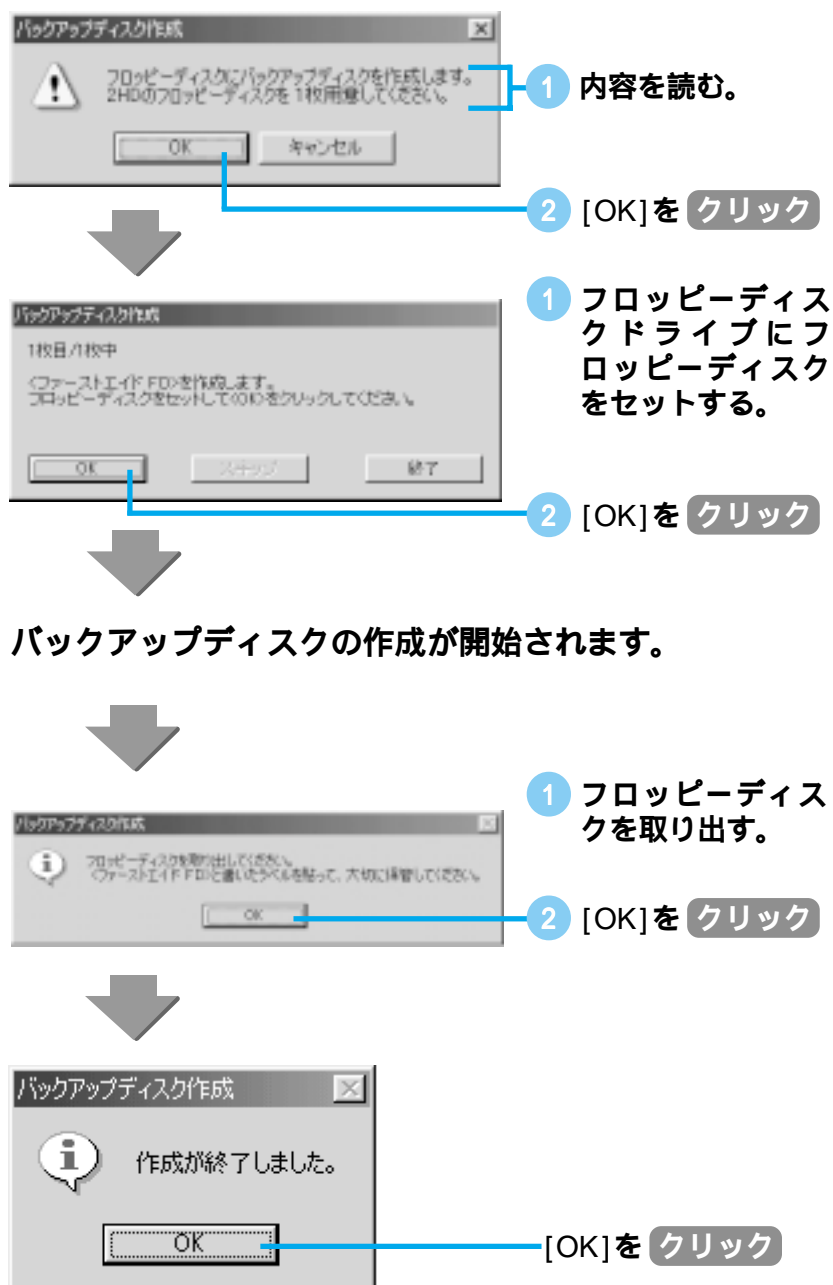
1 フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクをセットする。

2 [OK]を クリック

バックアップディスクの作成が開始されます。

1 フロッピーディスクを取り出す。

2 [OK]を クリック

[OK]を クリック

お願い

バックアップディスクの作成中は、その他のアプリケーションソフトは実行しないでください。ウィルスチェックプログラムなど常に稼働しているソフトウェア（常駐ソフトウェア）がある場合は、それらを終了してください。（終了のしかたについては、各ソフトウェアの説明書をご覧ください。）

◀バックアップディスクの作成中に「コピーするファイルが足りません。」というメッセージが表示された場合は、[OK]を選んで操作を終了し、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」（→『活用編』「保証とアフターサービス」）にご相談ください。

フロッピーディスクのセット/取り出し
詳しくは『活用編』「周辺機器を拡張する」をご覧ください。

お願い

フロッピーディスクドライブのアクセスランプ点灯中に、フロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったりしないでください。

◀取り出したフロッピーディスクにはフロッピーラベルを貼って名称を書いておいてください。

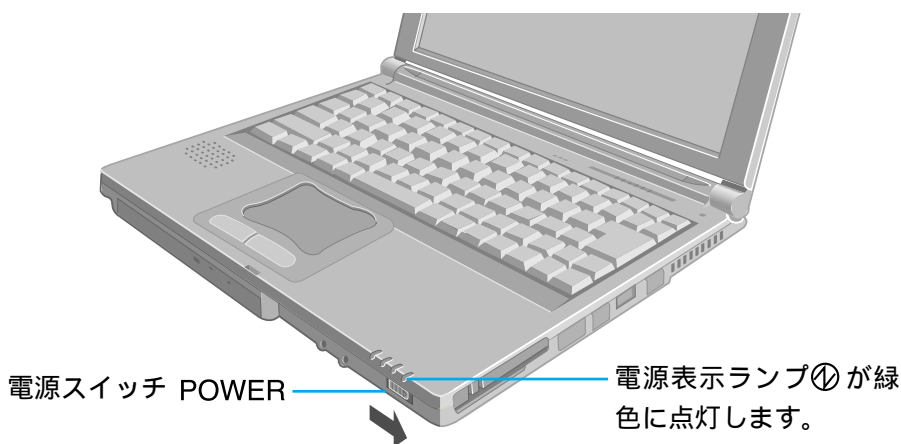
アップデートFDの作成画面が表示された場合
画面の指示に従って作成してください。

電源を入れましょう(2回目以降)

ここでは、Windowsのセットアップ完了以降の電源の入れかたについて説明します。プリンターなど周辺機器を接続している場合には、電源の入れかたに順番があります。

1 プリンターなどの周辺機器を接続している場合は、各周辺機器の電源を入れる。

2 電源スイッチをスライドする。

しばらくすると、Windowsの画面が表示されます。

Windows のセットアップ
→5ページ

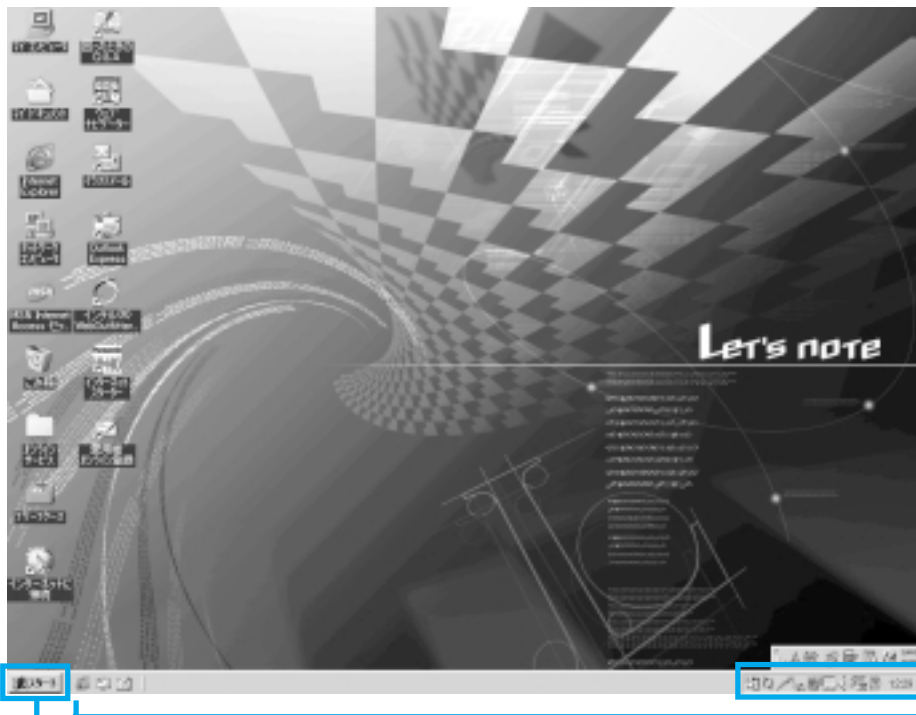
周辺機器について

『活用編』「周辺機器を拡張する」をご覧ください。また、各周辺機器に付属の説明書もご覧ください。

ウィンドウズ入門

Windowsの画面を見てみましょう

電源を入れて最初に表示される画面を「デスクトップ」と呼びます。デスクトップのアイコンや左下の「スタート」メニューからいろいろな機能を起動することができます。

<デスクトップ> 画面例は、一部実際と異なる場合があります。

<スタート>
コンピューターの設定を行ったり、アプリケーションソフトを起動したり、このメニューからいろいろな作業を始めることができます。

<アイコン>
ファイルや機能の内容を絵で表示したもの。
デスクトップ上のアイコンをダブルクリック（→16ページ）すると「スタート」メニューから選ぶより短い手順でアプリケーションソフトを起動したり、フォルダーを開いたりすることができます。
下記に基本的なアイコンについて説明します。

マイコンピュータ（→28ページ）
コンピューター本体の中身や設定を見ることができます。

マイドキュメント（→29ページ）
アプリケーションソフト等で作ったファイルを保存しておくフォルダーです。（→21ページ）

ごみ箱（→30ページ）
いらなくなったファイルやフォルダーをこの中に捨てます。

デスクトップ上にはいろいろなアプリケーションソフトのアイコンも、並んでいます。それらのアイコンからアプリケーションソフトを起動することができます。

ウィンドウズ入門

デスクトップの背景（壁紙）を好みのものに変更することができます。

壁紙の変更のしかた：

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックする。
②[画面]アイコンをダブルクリックする。
③「背景」の「壁紙」の中から好きなものを選ぶ。
④[OK]をクリックする。

<タスクトレイ>
日本語入力や音量の調整などのアイコンが並んでいます。

<タスクバー>
起動しているソフトや開いているウィンドウの名前が表示されます。

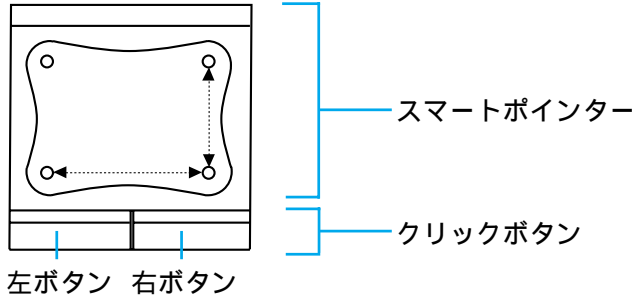
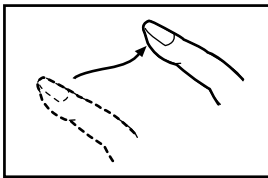
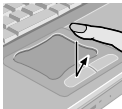
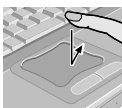
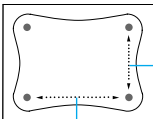
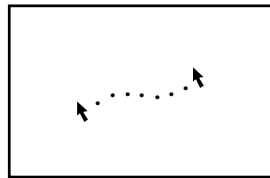
音量が大きい（小さい）と感じたら

Fn + F5 を押すと、音量が下がります。
Fn + F6 を押すと、音量が上がります。
詳しくは、『活用編』「キーボードの操作」をご覧ください。

画面が見にくいと感じたら

Fn + F2 を押すと、LCDバックライトの輝度が切り換わります。
詳しくは、『活用編』「キーボードの操作」をご覧ください。

スマートポインターとクリックボタン

ここでは、スマートポインターとクリックボタンの基本的な操作について説明します。スマートポインターの便利な機能については、『活用編』をご覧ください。

指の動き

画面上の矢印（ポインター）の動き

◀「マウスのプロパティ」を使うと、スマートポインターやクリックボタンの動作を変更することができます。詳しくは『活用編』をご覧ください。

◀操作面を軽く指先でなぞると、矢印をスムーズに動かすことができます。

基本操作

機 能	操 作 方 法
クリック	左ボタンを１回押して離す。
タップ	操作面上を軽く１回指先でたたく。
ダブルクリック	左ボタンをすばやく２回押して離す。
ダブルタップ	操作面上をすばやく２回指先でたたく。
ドラッグ	1本の指で左ボタンを押したまま別の指で操作面をなぞるか、操作面を1回たたいてからすばやく指先で操作面をなぞる。
スクロール	ここを上下にこすると、ウィンドウの縦方向のスクロールバーの上下移動と同じ働きをします。 ここを左右にこすると、ウィンドウの横方向のスクロールバーの左右移動と同じ働きをします。

◀文中の「たたく」とは、触ってその後、離すことです。

クリックやタップの働き
　操作の対象となるものの選択・操作の実行

ダブルクリックやダブルタップの働き
　アプリケーションソフトの起動など関連づけられた操作の実行

ドラッグの働き
　画面や矢印の位置にあるものの移動※・範囲の指定
　※ドラッグ後、指を離す（ドロップする）とその位置に移動

各取扱説明書中の表記について
　クリックとタップは基本的には同じ働きをします。また、ダブルクリックとダブルタップも基本的には同じ働きをします。
　本書では区別を必要としない場合は、「クリック」または「ダブルクリック」と記載します。
　必ず、タップまたはダブルタップして欲しいときのみ、「タップ」または「ダブルタップ」と記載します。

ウィンドウズ入門

使ってみましょう

文書を作るワープロソフト「ワードパッド」を例にして、アプリケーションソフトの起動と終了・文字の入力・保存など、操作の基本を説明します。

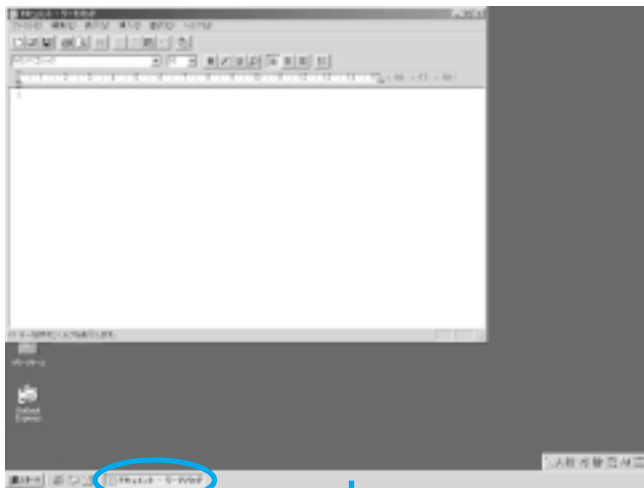
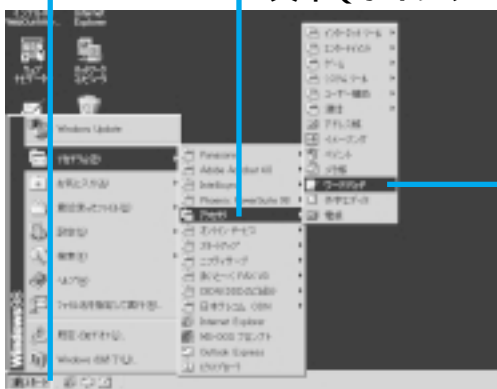
アプリケーションソフト（ワードパッド）の起動

アプリケーションソフトは、「スタート」メニューから始めます。

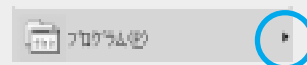
1 ワードパッドを起動する。

① [スタート]を クリック

② [プログラム]→[アクセサリ]の順に矢印（ポインター）をあわせる。

③ [ワードパッド]を クリック

タスクバー

◀ 画面例は、実際と異なる場合があります。

◀ スタートメニューについて

右向きの三角は、そのメニューの次にさらにサブメニューが用意されていることを示します。

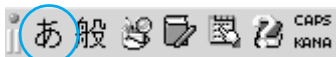
◀ワードパッドのウインドウが表示されます。画面下部のタスクバーに、起動中のソフトのタイトル（この場合、「ドキュメント-ワードパッド」）が表示されます。

使ってみましょう

文字の入力

日本語(全角)と英数字(半角)の切り換え

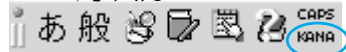
Alt ＋ 半角/全角 を押すごとに日本語入力モードと英数字入力モードが切り換わります。（画面右下の表示で確認できます。）

◀英数字入力モードでは、標準（全角）の半分の幅（半角）で入力されます。

日本語入力モード

英数字入力モード

入力方法について

かなの入力方法には「ローマ字入力」と「かな入力」があります。
日本語入力モードで Alt ＋ ローマ字 を押すごとに、入力方法が切り換わります。（画面右下の表示で確認できます。）

◀工場出荷時はローマ字入力です。

ローマ字入力

かな入力

<ローマ字入力>
ローマ字のつづりで「HA NA」と押すと、「はな」と入力されます。

H A N A → はな

ローマ字入力の特徴
主にA～Zを使うのでキーの場所は覚えやすいが、キーを押す回数が多い。

<かな入力>
ひらがなで「はな」と押すと「はな」と入力されます。

は な → はな

かな入力の特徴
あ～んのキーを使うので、キーの場所を覚えるのに時間がかかるが、キーを押す回数は少ない。

キーの打ち分け

*1 Shift を押しながら押すと、英大文字を入力できます。
*2 Shift ＋ カタカナ/ひらがな を押すとカタカナに切り換わります。カタカナ/ひらがな を押すとひらがなに戻ります。

チルダ（˜）の入力

チルダ（˜）は、英数字入力モードにして Shift ＋ ～ を押します。

例文の入力

電子メールやワープロソフトを楽しむために入力の練習をしてみましょう。

ひらがな　カタカナ・漢字

はじめて、パソコンに触れる。
Sunday, April 17

英数字（半角）

◀ワードパッドを使い、入力方法はローマ字入力で説明します。

<ひらがな>

1 画面右下の表示を確認する。

あ 般 CAPS KANA（画面右下の表示）

日本語入力モード　ローマ字入力

◀日本語入力モードになっていない場合は、前ページを参照して切り換えます。

2 H A J I M E T E を押す。

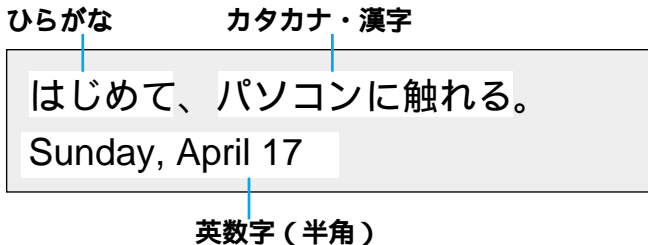
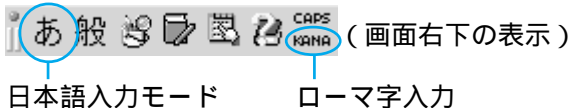
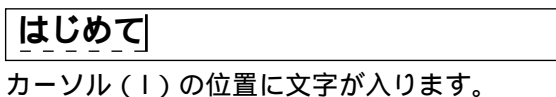
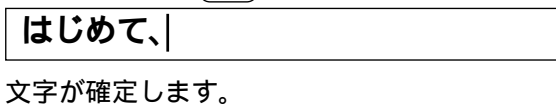
はじめて

カーソル（I）の位置に文字が入ります。

カーソル（I）の移動
- ← → ↑ ↓ で移動することができます。
- カーソル（I）は、文字の入力範囲でのみ動きます。
- スマートポインターをこすって画面上のカーソル（I）を目的の位置に移動してクリックすると、離れたところにすばやく移動できます。

3 読点「、」は < 、 ね をそのまま押し、Enter を押す。（確定）

はじめて、

文字が確定します。

<カタカナ・漢字>

4 P A S O K O N N N I H U R E R U と押し、変換 または （スペース）を押す。

はじめて、パソコンに触れる

5 句点「。」は > 。 る をそのまま押し、Enter を押す。（確定）

はじめて、パソコンに触れる。

6 行を変える。
Enter を押す。

はじめて、パソコンに触れる。

間違えたら
- Back space を押すと、カーソル（I）の左の文字が消えます。
- 間違えて 変換 を押した場合、Esc を押すと、一つ前の状態に戻すことができます。

松下

→ Esc → まつした

→ Esc →

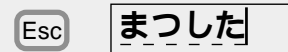
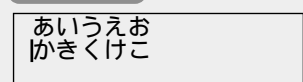
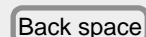
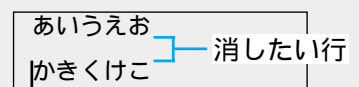
- Enter を押しすぎたら、行の先頭で Back space を押します。

①カーソルを行頭に移動して、

あいうえお
かきくけこ
消したい行

② Back space

あいうえお
かきくけこ

ウィンドウズ入門

使ってみましょう

＜英数字（半角）＞

7 Alt ＋ 半角/全角 を押し､英数字入力モードに切り換える｡

（画面右下の表示）

英数字入力モード

8 大文字の「S」は、 Shift ＋ S を押す。

小文字はそのままキーを押す。
コンマ「,」は ＜ ,ね を押す。

はじめて、パソコンに触れる。 Sunday, April 17

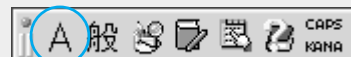
9 Alt ＋ 半角/全角 を押し、日本語入力モードに戻す。

大文字を続けて入力するには

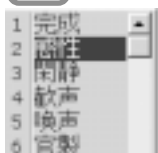
Shift ＋ Caps Lock を押した後、そのままキーを押します。

再度 Shift ＋ Caps Lock を押すと、小文字の入力に戻ります。

日本語入力モードで英字(全角)を入力するには

Caps Lock を押し、画面右下の表示を下記のように切り換えます。

ひらがなの入力に戻す場合は、カタカナ/ひらがな を押します。

目的の漢字が出ないとき

- 読みを入力して、 変換 を2回押すと、同じ読みの漢字一覧が表示されます。さらに 変換 を押して目的の漢字を反転させ、 Enter を押します。

- 変換中にひらがなに戻すには、 F6 （ひらがな）、または 無変換 を押します。
- 変換中にカタカナにするには、 F7 （カタカナ）、または 無変換 を押します。

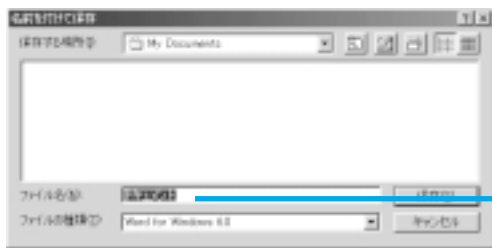
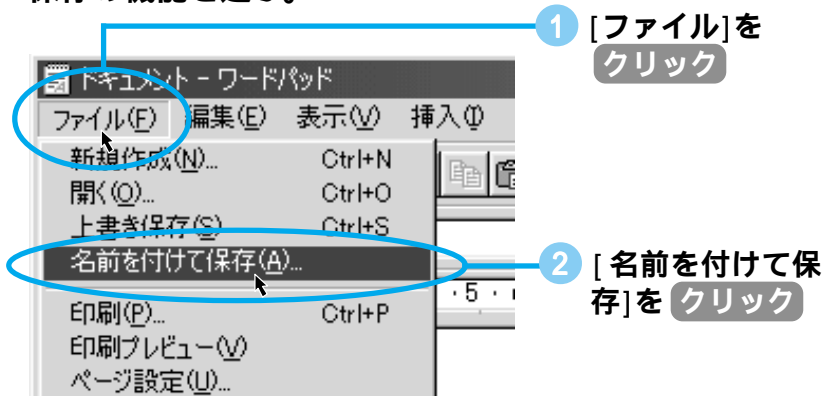
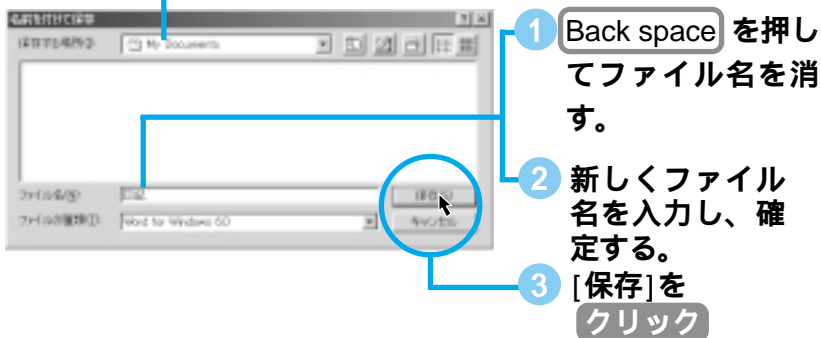
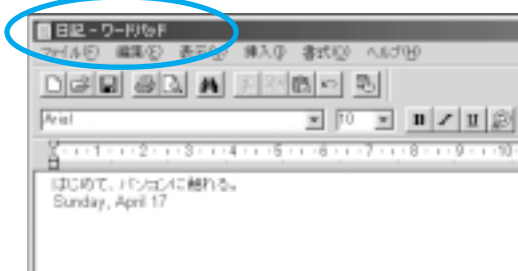
変換で出せる記号（代表例）

欧文・学術・ギリシア文字・一般記号（アッパーバー（￣）、々など）は、記号の一覧から入力できます。
①読みを「きごう」と入力し、変換（2回）。
②表示される記号の一覧の中から選ぶ。

画面右下の表示をクリックしても、入力文字などを切り換えられます

文書の保存

このままワードパッドを終わってしまうと、せっかく入力した文章が消えてしまいます。コンピューター本体に保存しておきましょう。

1 保存の機能を選ぶ。

2 ファイル名を入力し、保存する。

3 ウィンドウ左上のファイル名表示が、「日記」になっていることを確認する。

ファイル(文書)とファイル名

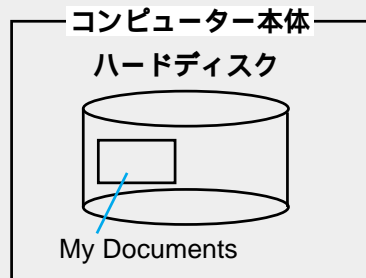
- １行の文章であっても、１つのファイル（文書とも呼ぶ）としてファイル名を付けて保存します。
- ファイル名には、次の記号を使用できません。

¥／<>，：；｜？＊”

◀初めは、任意のファイル名が表示されています。

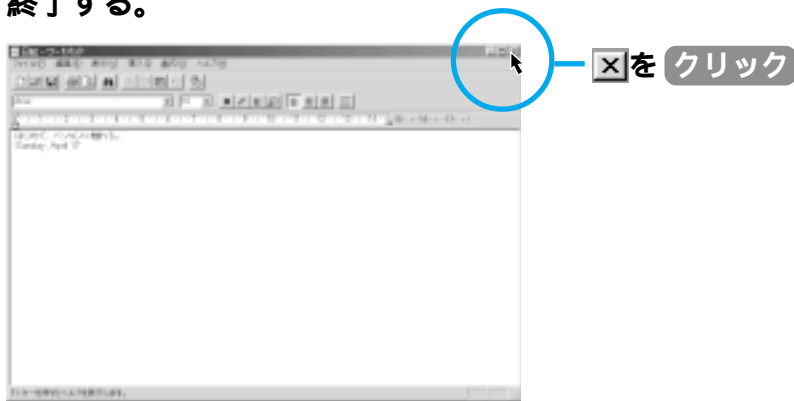
文字の入力のしかた
→18ページ

保存する場所

保存場所を指定しない場合、ファイルは、コンピューター本体内のハードディスクの「My Documents（マイドキュメント）」というフォルダー（整理箱）に保存されます。

新たにフォルダーを作り、その中に保存することもできます。（→30ページ）

アプリケーションソフト（ワードパッド）の終了

いったん、終了してみましょう。

1 終了する。

ほかの終了方法
画面左上の[ファイル]メニューをクリックし、[ワードパッドの終了]をクリックします。

◀ワードパッドのウィンドウが閉じられ、デスクトップの画面が表示されます。

電源を切るには
→10ページ

操作中にメッセージが表示されたら

メッセージの内容をよく読み、指示に従ってあわてずに操作してください。
例えば、入力内容を保存せずにアプリケーションソフトを終了しようとしたときには、下記のようなメッセージが表示されます。（メッセージはアプリケーションソフトによって異なります。）

・保存して終了するとき　　：[はい]をクリック。
・保存せずに終了するとき　：[いいえ]をクリック。
　この場合、入力した内容がすべて消えてしまいますので、よく確認して操作をしてください。
・終了せずに元の画面に戻るとき　：[キャンセル]をクリック。

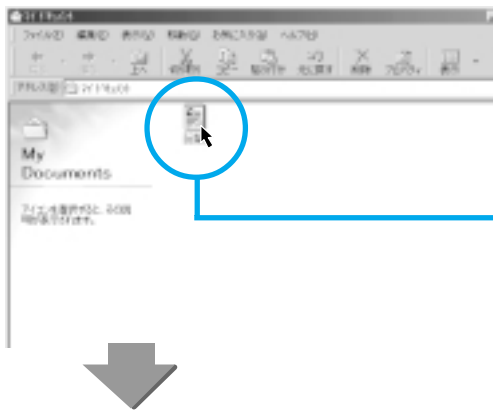
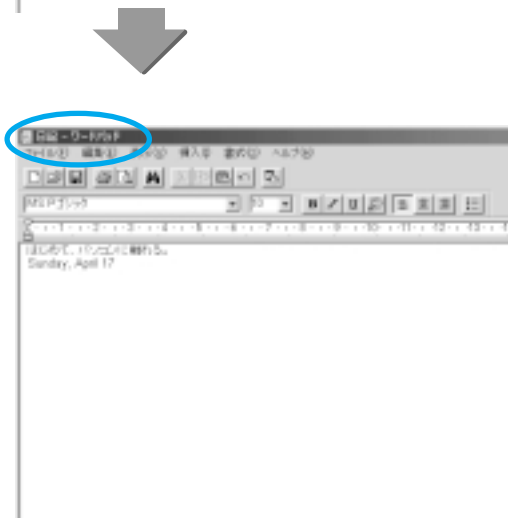
文書の呼び出し（ファイルを開く）

保存した文書を画面上に呼び出すことを「ファイルを開く」といいます。ファイルを開くには、いくつかの方法があります。ここではフォルダーに保存したファイルを直接指定して開く方法を説明しましょう。

1 デスクトップ画面が表示されているのを確認する。

2 フォルダーを開く。

「マイドキュメント」アイコンに矢印をあわせて左ボタンをすばやく２回押す。
（ダブルクリック）

3 ファイルを開く。

ファイルのアイコンに矢印をあわせて
ダブルクリック

ファイルを開くほかの方法
ワードパッドを起動し（→17ページ）、画面左上の[ファイル]→[開く]を順にクリックして、呼び出すことができます。

◀まず、「マイドキュメント」フォルダーを開いて、その中に保存されているファイルの一覧を画面に表示させます。

◀ワードパッドが自動的に起動し、文書が呼び出されます。ウィンドウ左上にファイル名（ここでは「日記」）が表示されます。

文書の書き換え

1行目にタイトルを追加し、保存し直しましょう。

1 １行目の前に２行挿入する。

はじめて、パソコンに触れる。
Sunday, April 17

１行目の先頭にカーソル(Ｉ)があるのを確認する。

はじめて、パソコンに触れる。
Sunday, April 17

Enter を２回押す。

2 タイトルを入力する。

今日の出来事

はじめて、パソコンに触れる。
Sunday, April 17

↑ を２回押してカーソルを文頭に移動し、入力する。

3 下線を引く範囲を指定する。

今日の出来事

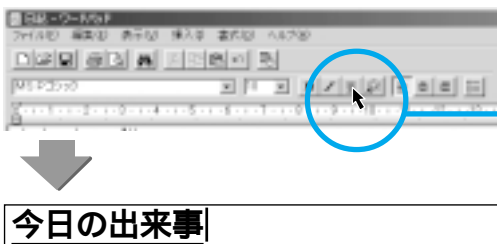
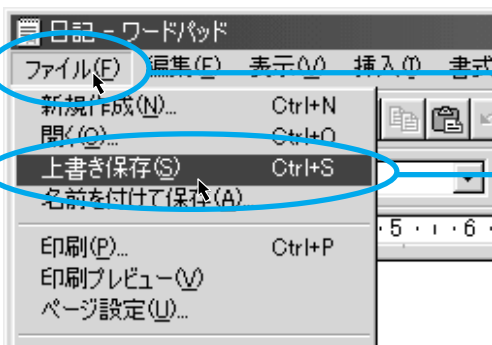
ここにカーソル（Ｉ）を移動して、左ボタンを押し、

今日の出来事

左ボタンを押したままスマートポインターを右にこすって下線を引く文字を反転表示させる。（ドラッグ）

4 下線を引く。

簡易メニューの[U]をクリック

今日の出来事

5 上書き保存する。

❶ [ファイル]をクリック

❷ [上書き保存]をクリック

文字の入力
→18ページ

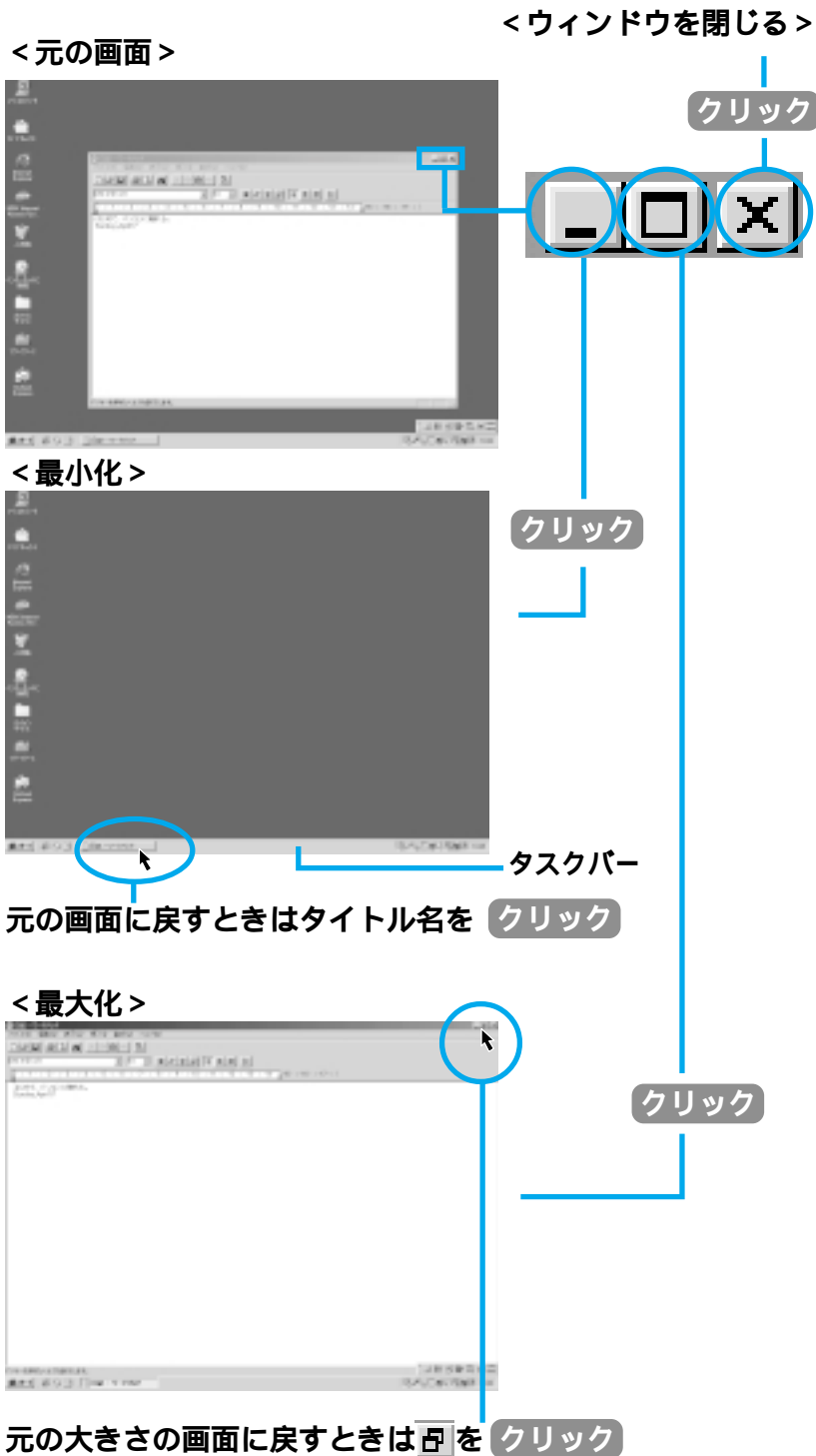
ドラッグに失敗したら
画面の空いているところに矢印を移動して左ボタンを押します。

簡易メニュー
簡易メニューは「ファイル」や「編集」の中からよく使う機能を選び出してアイコンにしたものです。各アイコンに矢印を合わせて少し待つと、アイコンが持つ機能名が表示されます。

「上書き保存」と「名前を付けて保存」
元の文書を、表示中の内容に置き換えるときは「上書き保存」、別の文書として新たに保存する場合は「名前を付けて保存」（→３１ページ）を選びます（上書き保存をしても、画面上は何の変化もありません）。

ウィンドウの操作

Windowsは、その名の通りいくつもの機能のウィンドウ（画面）を開いて操作することができます。ここでは、複数個のウィンドウをうまく切り換えて使用する方法を説明します。

ウィンドウを隠す（最小化）/ 最大にする（最大化）/ 閉じる

最小化

最小化を選ぶと、ウィンドウがタスクバーに吸い込まれるように消え、タイトル名だけが表示されます。

お願い

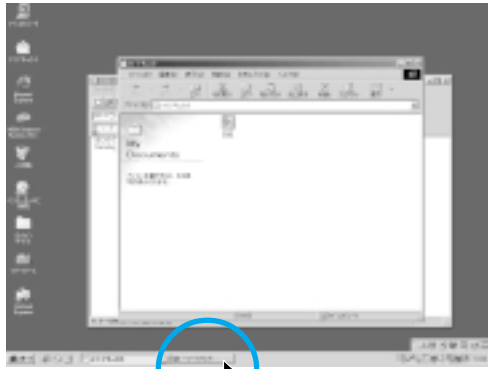
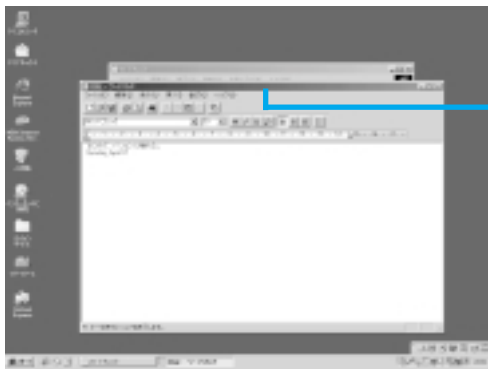
最小化した場合、ウィンドウは一時的に閉じただけで、ソフトを終了したのではありません。
ソフトを終了するときは、ウィンドウを元の大きさに戻して☒をクリックして、閉じてください。

最大化

最大化を選ぶと、ウィンドウが画面いっぱいに表示されます。

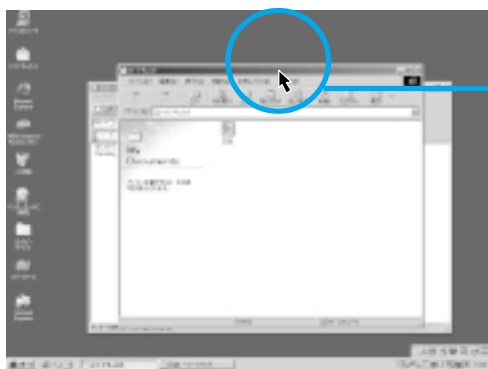
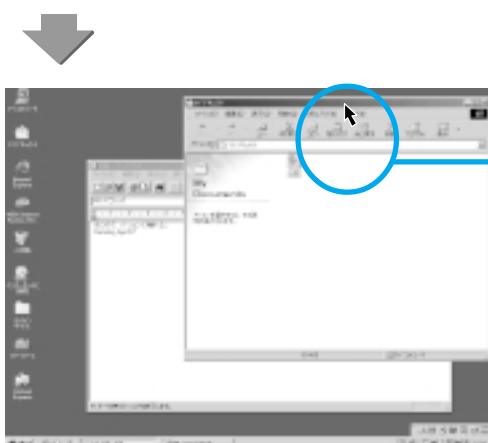
使ってみましょう

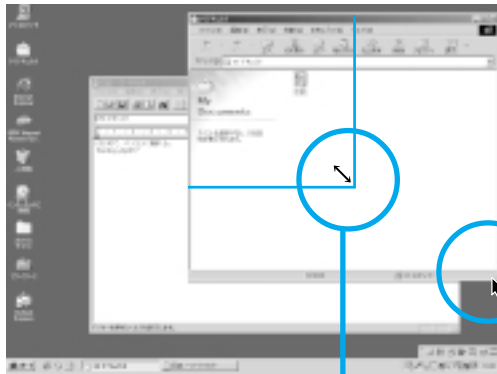
ウィンドウの重なりかたを変える

操作したいウィンドウを一番手前に表示する方法です。

目的のウィンドウのタイトルを クリック

◀手前にしたいウィンドウが見えている場合は、その上に矢印を移動してクリックしても手前に表示することができます。

タイトルバーが青色になる。

◀タイトルバーが青色になり、そのウィンドウがアクティブ（操作対象）になります。

ウィンドウの位置をずらす

タイトルバーにポインター（矢印）をあわせて左ボタンを押し、押したまま、移動したい方向にスマートポインターをこする
（ ドラッグ ）

目的の位置で左ボタンを離す。

ウィンドウの大きさを変える

これで、ワードパッドを使った操作を終わります。
☒をクリックして、ワードパッドを終了しましょう。

電源を切るには
→10ページ

スクロールバーによる操作

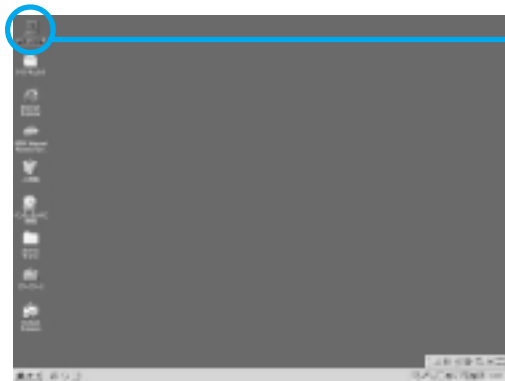
ウィンドウ内にすべての内容を表示できないときは、下記のようなスクロールバーが表示されます。スクロールバーを操作して表示位置をずらし、ウィンドウの外に隠れている部分を表示できます。

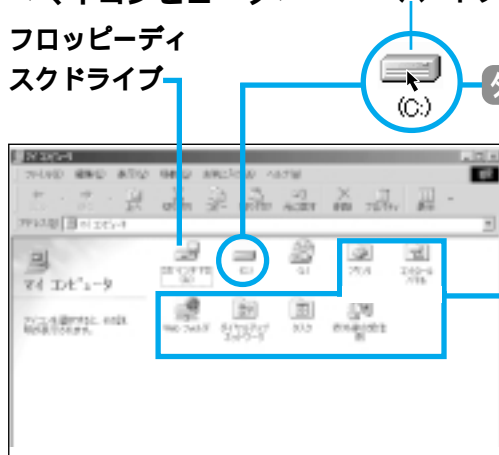
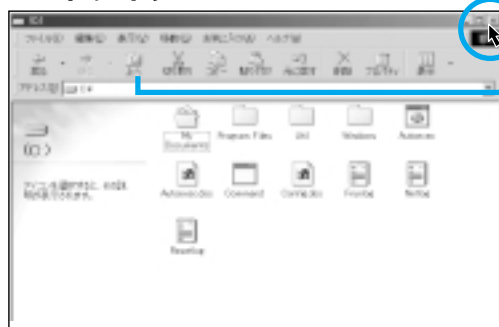
左右のスクロールバーも、上下の場合と同様に操作できます。

コンピューターの中身をのぞいてみましょう

「マイコンピュータ」の開きかた

デスクトップから「マイコンピュータ」を開くと、コンピューターの中身をのぞくことができます。

<デスクトップ>

[マイコンピュータ]を ダブルクリック

<マイコンピュータ>

<Cドライブ>

ドライブの種類

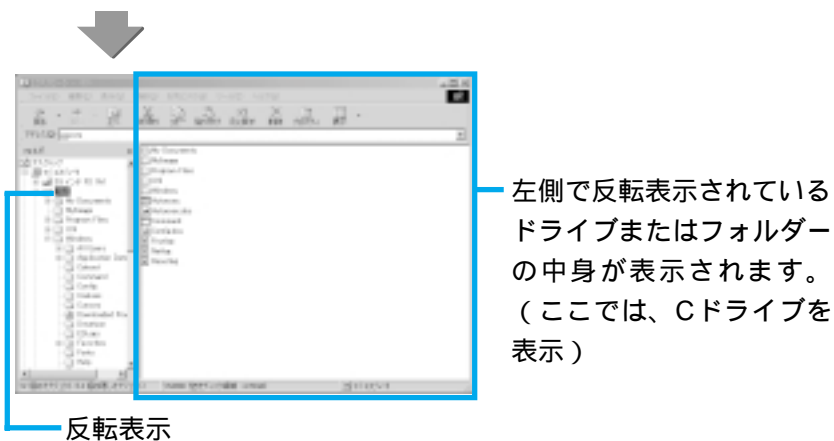
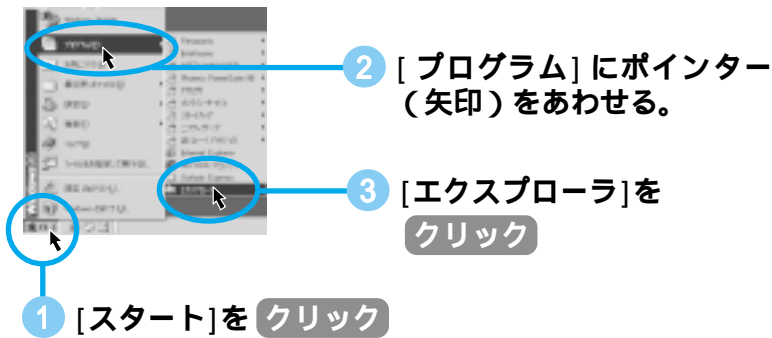
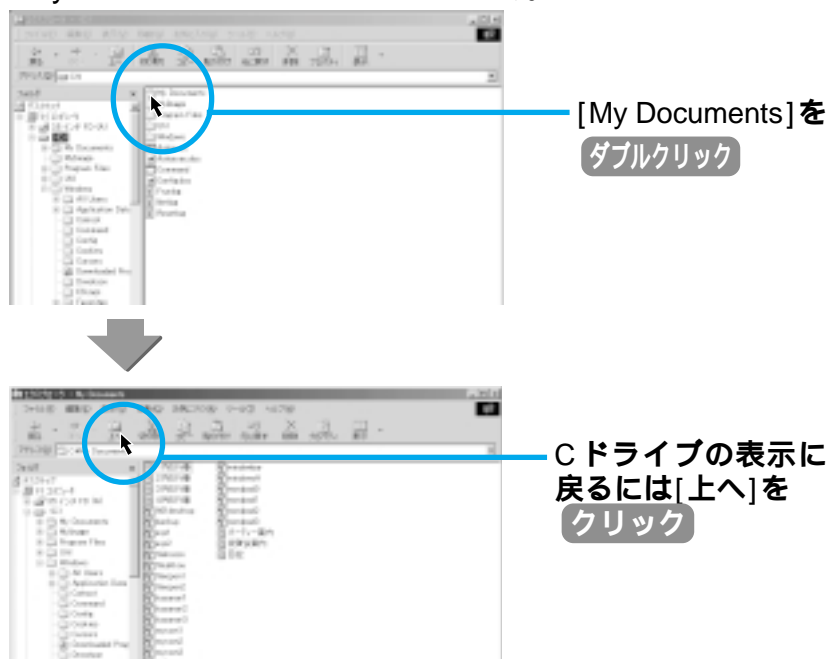
- フロッピーディスクドライブ
  フロッピーディスクドライブを接続すると、フロッピーディスクのデータを読み書きできます。通常、画面上では（A：）と表示されます。
- ハードディスクドライブ
  本体内のハードディスクにデータを読み書きします。通常、画面上では（C：）と表示されます。
- CD-ROMドライブ
  CD-ROMドライブのデータを読むことができます。通常、画面上では（L：）と表示されます。

お願い

Cドライブには、コンピューターに必要なシステムやアプリケーションソフトのフォルダーとファイルが保存されています。誤って削除、変更しないように気を付けてください。

「エクスプローラ」の使いかた

「エクスプローラ」を使うと、「マイコンピュータ」とは違った表示の方法でコンピューターの中身を見ることができます。

1 「エクスプローラ」を起動する。

2 「My Documents」フォルダーを開く。

⊞と⊟のマークについて

⊞をクリックすると、中にあるフォルダーが表示され、⊞が⊟になります。⊟をクリックするとその中のフォルダーが表示されなくなり⊞になります。

→

←

ウィンドウズ入門

コンピューターの中身をのぞいてみましょう

新しいフォルダーの作りかた

「エクスプローラ」を使って「My Documents」フォルダーの中に、新しいフォルダーを作りましょう。

1 「My Documents」フォルダーを開く。（→前ページの*1*、*2*）

2 フォルダーを作る。

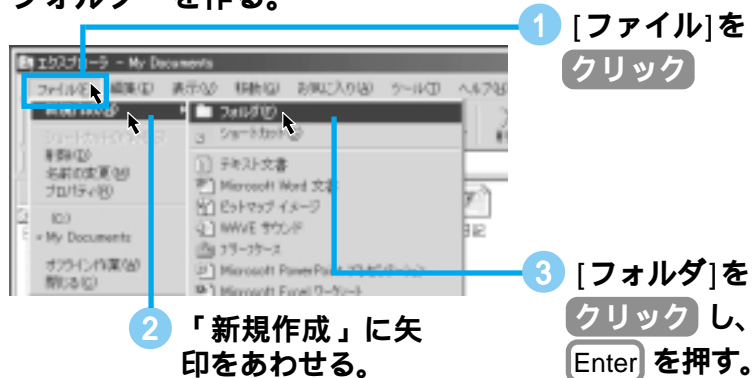
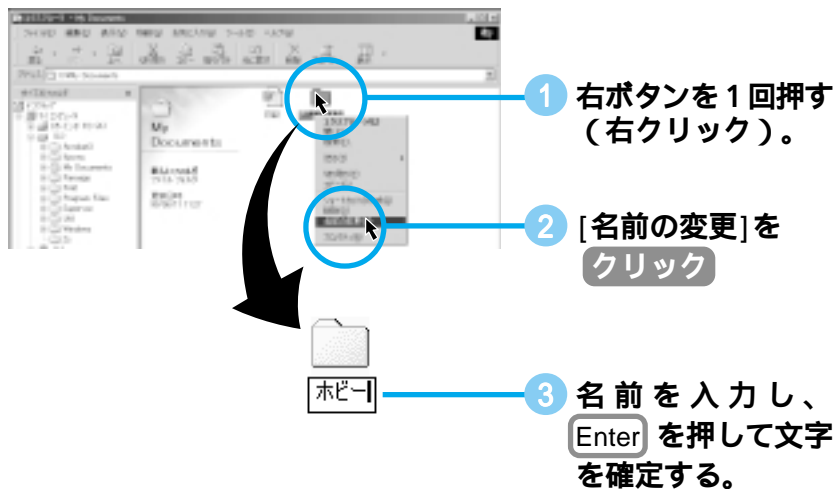
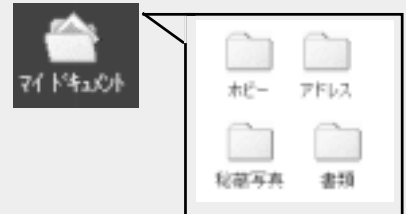
① [ファイル]を クリック

② 「新規作成」に矢印をあわせる。

③ [フォルダ]を クリック し、 Enter を押す。

3 「新しいフォルダ」の名前を変える。

① 右ボタンを１回押す（右クリック）。

② [名前の変更]を クリック

③ 名前を入力し、 Enter を押して文字を確定する。

◀文書の内容ごとにフォルダーを作り、同じ種類のファイルをそれぞれのフォルダーに保存しておくと、管理しやすくなります。

新しいフォルダーの作成に失敗したら下記の「作ったフォルダーやファイルを消すには」をご覧ください。

◀ファイル名も同じ方法で変更できますので、覚えておきましょう。<u>元からコンピューターにあるフォルダーやファイルの名前は絶対に変更しないでください。</u>コンピューターが正しく動かなくなります。

◀日本語入力モードになっていないときは Alt ＋ 半角/全角 を押すごとに、日本語入力モードと英数字入力モードを切り換えられます。

作ったフォルダーやファイルを消すには

フォルダー、またはファイルをごみ箱（→14ページ）へ移動すると、消したことになります。（フォルダーを移動すると、中にあるファイルも消えます。）

<u>元からコンピューターに入っているフォルダーやファイルは絶対に消さないでください。</u>
Windowsが起動できなくなったり、コンピューターが正常に動作しなくなります。

①消したいフォルダーに矢印をあわせる。
②左ボタンを押したまま、スマートポインターをこすってフォルダーを「ごみ箱」上へ移動し、左ボタンを離す。（キーボードの Del を押しても消すことができます。）
③削除の確認メッセージが表示されるので、削除していい場合は[はい]をクリックする。
（ごみ箱の中身を表示させるときは、ごみ箱に矢印をあわせてダブルクリックしてください。）

ウィンドウズ入門

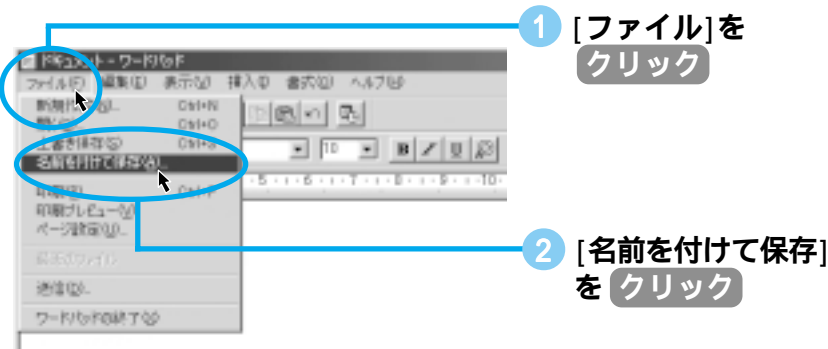
作ったフォルダーへの保存のしかた

前ページで作ったフォルダーの中に、ファイルを保存します。

1 「ワードパッド」を起動する。（→17ページ）

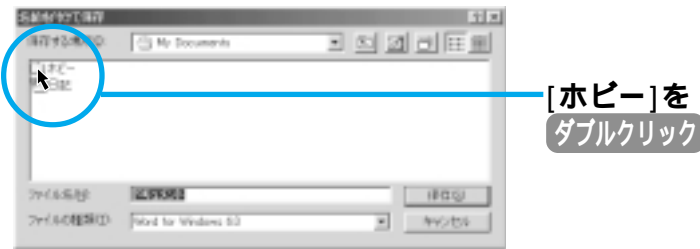
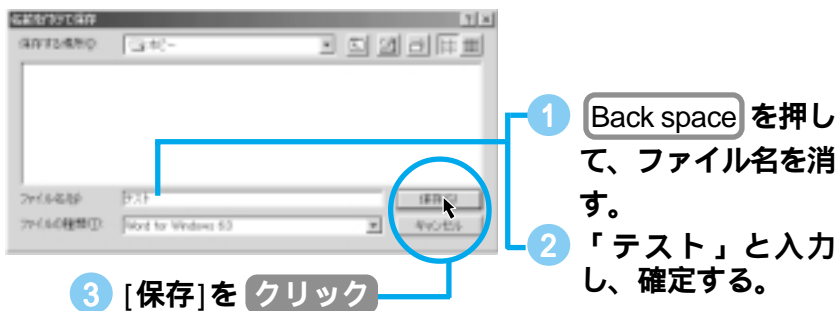
◀「ワードパッド」を例にして説明します。

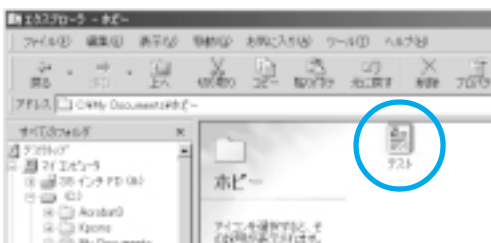
2 名前を付けて保存する。

◀ここでは何も入力せずに、すぐに保存の練習をします。

3 前ページで作った「ホビー」フォルダーを開く。

◀左の画面で [上のフォルダーへのボタン] をクリックすると、一つ上のフォルダー（この場合、「My Documents」）に戻ることができます。

4 ファイル名を入力する。

日本語入力モードになっていないときは
Alt ＋ 半角/全角 を押すごとに、日本語入力モードと英数字入力モードを切り換えられます。

5 ワードパッドを終わる。（→22ページ）

6 保存できたことを確認する。

28、29ページを参照して「マイドキュメント」を開き、「ホビー」を開いてください。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

Panasonic パーソナルコンピューター CF-M1シリーズ 取扱説明書『セットアップ編』

松下電器産業株式会社 パーソナルコンピュータ事業部

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町一丁目１０番１２号

FJ1199-1010
DFQM5308YA